

私たちの活動や意見を平和委員会の仲間たちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

## 土浦平和の会

ニュースNo. 259 2013年 9月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL、FAX 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

## 県知事選で田中しげひろ氏が34%の得票で善戦

土浦平和の会は「東海第2原発を再稼働させず廃炉にする」「改憲に反対し憲法を守る」などの基本政策に賛同し、土浦の「明るい民主県政をつくる会」に参加し、駅頭の宣伝活動などを行ってきました。土浦では4割(39%)の得票を得、橋本氏と互角に戦いました。それだけ基本政策が市民の願いと共鳴をしたといえます。それは今後の闘いに生きる貴重な成果となりました。

「土浦9条の会」の9条を守る憲法署名活動へ協力しました。

9月12日(木)に土浦駅西口で行われた「9条の会」の署名活動に土浦平和の会として協力しました。憲法改悪に反対し平和憲法を守る運動は、茨城県平和委員会の秋の平和行動の最重要課題の一つとなっています。

参加者募集：一どなたでも参加できます。延期になっていた企画です。再録します。

平和の会の 霞が浦の歴史散歩

9月20日(金) 締切り

9月24日(火) am9:00~ 土浦市民会館発

(車に分乗して巡ります。弁当、飲み物持参、参加費500円)

水戸街道を散歩し、たたかひの歴史に触れてみよう (斉藤房雄先生の案内)

中貫宿→ 助六一揆→ 稲吉宿→ 歩崎観音(ここで、会食)

土浦平和の会の **平和の旅**

企画(募集は改めてお知らせします)

11月7日(木)~8日(金)(予定)

福島県の中通りから浜通りを復興応援の気持ちを込めて巡ります。アウシュヴィッツ平和博物館(白河)、東京電力福島第1原発事故を後世に伝える展示施設「原発災害情報センター」

湯ノ岳の慰霊碑

貸し切りバスで巡ります。参加費約15000円。(予定)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和の仲間へ伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスをご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会の仲間たちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

シリーズ 私の体験 (6)

## 長崎原爆の前と後 (2)

黒川 博

(終戦後、山口県の海軍の学校から我が家に帰る列車の中で初めて新型爆弾が長崎に落とされたことを知ってから・・・)

そして列車が我が家の側を通るとき、帰るべき家の無いことを悟った。降りる予定の浦上駅は止まらず、長崎駅は改札業務はやっていたが、駅舎は焼けて何もなかった。夕方、薄暗くなり、如何ともしがたく駅前広場のコンクリートの上でまんじりともせず夜を明かした。翌朝、どうすべきか迷っているとき偶然、従兄弟と会い、家の焼け跡に立札が立っており父親が生きていることを知らされた。早速、重い荷物を背負い、昨日通ってきた線路沿いの国道を北へ3kmほど歩き、我が家の焼け跡に着いた。立札に書いてあった疎開先の住所、川平町伊良之迫は全く見当もつかず、訪ね訪ねて約4km、夕方になって漸く山あいの小さな小屋に辿り着いた。土間の炊事場がついた6畳一間の小さな小屋だった。そこには勤めに出ていて助かった父と姉2人と傷つき寝ていた妹の4人がいた。電気、水道もなく明かりはローソク、水は小屋の側を流れる小川を利用、ただし飲み水だけは近くの農家の井戸水をもらってくるとのことだった。部屋には中身の無い箆笥一竿があり、上に木の箱がのせてあった。母と弟の2人の遺骨ということだった。何も言えず、ただ慟哭した。母は40歳だった。

8月9日は、母は近所の人に洋裁を頼まれミシンを踏んでいたが、下の子がまとわりついて仕事が進まないで、三女の幸子(9歳)に妹2人(5歳と2歳)を連れて町営の防空壕のところに遊びに行くように言いつけた。町営の防空壕は丘をくりぬいた立派なもので、前が広場になっており、子供たちの格好の遊び場になっていた。その日も多くの子供たちが遊んでいた。11時過ぎ微かな爆音がした。その時は警戒警報中で防空壕に入る必要はなかったが、なぜか妹たちは壕に入った。その途端にピカリと光り、ものすごい爆風であとは気を失い、目が覚めてを繰り返しているうちに助けだされた。助け出したのは父だった。下の妹二人は姉の傍ですでに死んでいたようだ。二人は疎開先への途中の他所の墓場の側に埋めてきたとの事だったので、私が帰って半月ほど経って、骨にしてやろうと父と私で埋めた遺体を掘り起こし、近くの工場の焼け跡の燃え残りの木材を井桁に組んで茶毘に付した。掘り起こす前には、あの可愛い二人を思い浮かべていたが、あまりの変わりように愕然として声を失った。半月以上も土の中にいたのだから当然だろうに……。今でも臉に残っている。

(以下、次号につづく)

この「シリーズ私の体験」欄に、読者の方の体験談をぜひ投稿してください。

9/12 憲法9条を守る署名行動(土浦駅)  
 9/14 明るい民主県政を作る土浦の会報告会  
 9/17 平和の会理事会

9/24 霞ヶ浦歴史散歩  
 (中貫宿～かすみがうら歴史博物館)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和の仲間へ伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスをご連絡ください